

2017 年度

留学報告書

2017 年 8 月 28 日～

2018 年 1 月 9 日

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号 : 21016032

川上莉奈

目次

1 留学先及び実習期間	2
2 留学先概要	2
3 留学目的	2
4 留学内容	3
4 - 1 留学のスケジュール	3
4 - 2 留学の詳細	3
5 当初目的・目標への達成度	
.....	4
6 反省・課題	4
謝辞	4

付録

留学日誌	5
------	---

1 研修先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

留学期間：平成 29 年 8 月 28 日（月）～平成 30 年 1 月 9 日（火）

※帰国は 1 月 9 日（火）

2 留学先概要

(1) 大学について

北京師範大学は北京市海淀区というところに位置する。北京市海淀区は流動人口を含め 224 万人が居住しており、多くの大学が位置する都市である。北京師範大学は、北京大学、清華大学、中国人民大学などを表す北京四大大学とされている大学の 1 つで、100 年以上の歴史をもつ。敷地内には、体育館、バスケットコート、テニスコート、競技場など、多くの施設が完備されている。学部は教育学部を中心とした 30 を超える学部をもち、在校生の人数はおよそ 3 万人を超える。また、多くの留学生を毎年受け入れているため、留学生食堂を含む多くの食堂があるため、食事のバリエーションも豊富である。

(2) 大学で行われている教育について

北京師範大学は、質の高い教育を行っていることと、21 学部の 36 専攻で留学生の受け入れていることが特徴である。毎年、50 以上の地域からの留学生が集まり、言語、文化、習慣などの面から学習することができる。言語面では、学期初めにクラス編成テストが行われ、1 人 1 人の能力に応じてクラスが編成されている。そのため、中国語が苦手でも、基礎から学ぶことができる。また 1 クラスの人数は 15 人前後で、人数が大きくなりすぎないようにされているため、1 人 1 人を熱心にサポートしてくれる。文化、習慣面では、中間テスト後に約 1 週間の修学旅行があり、中国の地域ごとに異なる歴史や食文化に触れることができる。

3 留学目的

今回の留学の目的は、中国語スキルの向上である。国際文化学科の週 3 回の授業だけでは将来十分に発揮できないと感じた。実際に、中国で生活し、日常的に中国語を使用することで、中国語のスキルの向上がより望めると感じた。HSK6 級、中国語検定 2 級を取得する能力を身につけ、将来、発揮するためには中国語検定 3 級を取得することを目標とし学習に取り組んでいきたい。ネイティブの方との会話から、正確な発音を習得し、違和感なくコミュニケーションを取れるようになることを目的とした。

また、中国文化についての理解も目的の 1 つである。国際文化学科の授業でも異文化理解や、中国史概説といった講義で中国の文化や歴史に触れることができたが、中国でその知識をより深め、日本との違いを比較することを目的とした。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
8	28日(月)		到着
	29日(火)	入学手続き	
9	1日(金)	クラス分けテスト	
	4日(月)	授業開始	
	9日(土)	交流会	
10	1日(日)	内モンゴル旅行	
11	2日(木)	中間テスト	
	3日(金)		
	8日(水)	修学旅行	
	9日(木)		
	10日(金)		
	11日(土)		
	12日(日)		
12	25日(月)	クリスマスパーティー	
1	2日(火)	期末テスト	
	3日(水)		
	5日(木)	終業式	
	9日(火)	帰国	

4 - 2 留学の詳細

i) クラス分けテスト

クラスを中国語レベルに合わせて編成するためのテスト

ii) 交流会

日本語学科の中国人と交流会を行った。お互いに、出し物を出し交流を深めた。

iii) 内モンゴル旅行

内モンゴルに旅行に行った。

iv) 修学旅行

河南省というところに歴史や食文化に触れるために歴史的建造物などを訪問した。

v) クリスマスパティー

クラスで、プレゼントを持ち寄り、プレゼントをみんなと交換した。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 中国語スキルの向上

HSK6 級と中国語検定 2 級の取得については、帰国してから受験できていないため記述を差し控える。しかし、留学期間中の中間テストと期末テストを比べると、中間テストより期末テストの成績が良いことから、実力の向上がみられた。しかし、これに満足せず、帰国してからも中国語の学習に力を入れたい。

ii) 日常的な中国語の使用

留学期間中は授業内での先生との会話、授業以外でのクラスメイトとの会話、地域の方とのコミュニケーションを積極的に行った。また、留学初めに行われた、日本語学科の方との交流会を機に、中国人の友達が増え、日々、コミュニケーションを多くとり、中国語を実際に使用する機会を増やすことができた。

iii) 中国の文化、歴史体験

留学期間中での旅行からいろんな地域の歴史や食文化に触れることができた。10月の初めに二泊三日で行った内モンゴル旅行では、内モンゴルで有名な羊肉を食べ、食文化を体験することができた。11月の初めには約1週間の修学旅行で河南省に行き、さまざまな歴史的建造物を見学し、それぞれの建造物、地域の歴史や文化を理解することができた。また、中国人の友達と共に四川料理を食べることもできた。中国の歴史、文化、食に直に触れ日本との比較をすることができた。

6 反省・課題

4か月間という短い期間でしたが、中国語スキルの向上だけでなく、他国からの留学生との交流もとてもかけがえのないものでした。4か月の留学で満足せず、本場で学んだネイティブな発音や会話表現を忘れずに、帰国してからも継続し、より中国語のスキルを向上させることに努めたい。

謝辞

今回、北京師範大学漢語文化学部にて懇切丁寧な指導をしてくださったリーディングの王建喜先生、リスニングの徐棠先生、スピーキングの展翼先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の留学担当 2017 年度前期の授業、現地サポート、

帰国後の各種活動への指導を賜りました、佐藤若菜先生、區建英先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：留学日誌

8月6日 月曜日 午後
出発 1430 新潟空港
担当 佐藤若菜 先生
内容 ・新潟空港にて先生と合流 ・新潟から成田まで飛行機で移動 ・成田で乗り換え、北京空港まで飛行機 ・北京空港で入国審査 ・空港から北京師範大学の寮までバスで移動

移動の所感

乗り換えや移動時間、入国審査などで疲れた。留学への楽しみでいっぱいであると同時に不安でもあった。明日は入学手続きで忙しい一日になる。留學生活、頑張っていくたい。

8月29日 火曜日
新入生登録
場所 留学生办公室
内容 ・新入生の登録手続き

新入生登録時の所感

朝から佐藤若菜先生と班主任の李さんと一緒に留学生办公室に行って、新入生入学手続きを行った。班主任である李さんは中国人であるが、日本語がとても上手で、手続きのサポートしてくれた。また、現地で北京師範大学の本科生で学んでいる日本人の方も手伝ってくれた。パスポートやビザ、海外保険証などいろいろなものが必要だったが、李さんや先生のサポートがあり、スムーズに進んだ。他の日本人留学生に比べ、新潟国際情報大学の先生方は、留学のサポートを熱心にしてくれるため不安なく留学準備をすることができた。

9月1日 金曜日

クラス分けテスト
場所 教二楼
内容 ・1人1人の中国語能力に合わせてクラスを編成するためのテスト

テストの所感

テストは筆記試験と口頭試験で行われる。テスト用紙を見たとき、それまで教科書の短い文での中国語にしか触れていなかったため、中国語でしか書かれていないテスト用紙に少し戸惑った。口頭試験では、緊張したが優しい先生2人と穏やかな雰囲気での試験だった。いよいよ授業が始まる。

9月4日 月曜日
授業開始
場所 教二楼
内容 ・自己紹介 ・读写・听力・会話

具体的内容および所感

前日、クラス分けテストの結果が出て、クラスが発表された。授業は读写・听力・会話の三科目がある。读写はリーディング、听力はリスニング、会話はスピーキングである。先生は三科目とも優しい先生ばかりで、各科目、初日は自己紹介をした。発音や文法などがまだできてない。4か月で頑張って身につけたいところだ。後の所感として、授業は全体的に留学生が楽しんで学べるような授業であった。時には、パワーポイントなどを使って中国語で日本の特産品を紹介や、趣味や好きな俳優、歌手、食べ物などについて発表することもある。中国語を使う機会が必然的に増えるので、中国語を学ぶにはとてもいい環境である。

9月4日 月曜日
場所 主楼
内容 ・切り絵 ・水墨画 ・習字

具体的内容および所感

この日から、切り絵の授業が始まった。この授業は、中国文化に触れることを目的としている。9月から10月初めまで切り絵を学び、10月中旬から11月終わりまで水墨画、11月終わりから12月終わりまで習字を学んだ。切り絵も水墨画も初めて学ぶことばかりだったので特に切り絵は楽しく取り組めた。習字も日本のものとは少し違い、中国の文化に直に触れることができ、とても有意義な授業だった。

9月9日 土曜日
中国人との交流会
場所 主楼
内容 ・北京師範大学の日本語学科の中国人の人たちの交流

交流会の所感

お互いに出し物でゲームなどをして交流する。日本のお菓子をあげるととても好評であった。中国人の人たちは本当に日本のことが大好きな人たちで、日本人より日本を知っている。ここでできた友達とは留学期間中、ずっと関わり深く、中国を案内してもらったり、遊びに行ったり、一緒に旅行に行ったりしたこともあった。かけがえのない友達が留学生活開始1週間でできた。

11月2日 木曜日
11月3日 金曜日
中間テスト
内容 ・中間テスト ・读写・听力・会話

具体的内容および所感

難易度はとても難しいというものではない。普段の予習・復習をしっかりとすれば十分に解ける。读写は筆記、听力はリスニング、会話は口頭試験と筆記試験がある。2日は读写と会話のテスト、3日は听力のテストだった。听力のテストに納得がいかなかったので、期末テストを頑張りたい。

11月8日 - 12日
修学旅行
場所 河南省
内容 ・河南省へ修学旅行

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・龍門石窟 - 白馬寺・洛陽博物館・小学校訪問 |
|---|

1月2日 火曜日

1月3日 水曜日

期末テスト

場所 生物 - 化学楼

内容

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・期末テスト・读写・会話・听力 |
|--|

具体的な内容および所感

期末テストも中間テスト同様難しいものではない。感覚としては、中間テストを受けたときより、だいぶ中国語のリスニング力も会話力も読解力もついていた。4か月で中国語能力がかなりついたことが実感できた。